

平成 29 年 3 月 28 日  
山梨県福祉保健部健康増進課  
課長 岩佐景一郎  
電話 055-223-1493(内線 3507)

## 平成 28 年度子どもの喫煙等母子保健関係調査の結果

### ～家庭内や飲食店での受動喫煙防止対策が必要～

このたび、平成 28 年 11～12 月に実施した「子どもの喫煙等母子保健関係調査」の結果を取りまとめましたので、公表します。

今回の調査では、未成年者の喫煙及び飲酒率などの県健康増進計画「第 2 次健やか山梨 21」の中間評価に加え、未成年者の受動喫煙に対する考えや実態について把握しました。

#### 【調査結果のポイント】

○子どもの喫煙率（最近 1 ヶ月の喫煙）は中 1 女子以外は減少した。

中 1 男子 0.9% ⇒ 0%（全国 1.0%） 高 3 男子 3.6% ⇒ 2.5%（全国 4.6%）

中 1 女子 0% ⇒ 0.5%（全国 0.3%） 高 3 女子 2.6% ⇒ 0.6%（全国 1.5%）

- ・ 全国平均（H26）と比べると中 1、中 3 女子が高い。
- ・ 喫煙開始年齢は、中学生では 13 歳、高校生では 14 歳が最多。

○家庭や飲食店での受動喫煙に課題。

- ・ 家族に喫煙者がいる割合は、50.9%。喫煙する家族の割合は、父親 38.8%、母親 17.6%、祖父 7.4%の順に高かった。
- ・ 受動喫煙で不快な思いをした子どもは、51.7%。路上、飲食店、家庭の順に高い。
- ・ 受動喫煙を受けた場所は、家族に喫煙者がいる子どもは家庭が多く、家族に喫煙者がいない子どもは路上や飲食店と公共の場所が多かった。

○子どもの飲酒率（最近 1 ヶ月の飲酒）は全ての学年で減少した。

中 3 男子 12.9% ⇒ 6.0%（全国 7.0%） 高 3 男子 15.2% ⇒ 12.1%（全国 13.4%）

中 3 女子 16.1% ⇒ 6.1%（全国 5.2%） 高 3 女子 13.3% ⇒ 8.7%（全国 10.7%）

- ・ 中学生女子（1～3 年）は全国平均（H26）より高い。

○飲酒の機会は、家族と一緒に最多。

- ・ 飲酒する機会は家族と食事をする時、お酒の入手先は家にあるものが最も多かった。

詳細は、報告書をご覧ください。<http://www.pref.yamanashi.jp/kenko-zsn/tobacco.html>